

Istanbul Weekly vol.5-no.32

イスタンブール ウィークリー

発行：在イスタンブール日本国総領事館 発行日：2016年9月30日（金）

— 今週のポイント —

政治：憲法改正に向けて与野党3党が基本合意。

国家安全保障会議、非常事態宣言の来年1月18日までの延長を政府に勧告。

経済：政策金利、7か月間連続引き下げ。

ムーディーズ、トルコ・ソブリン債をジャンク級に格下げ。

治安：PKK：イスタンブールで第三大橋やサッカースタジアム等へのテロを計画していたと判明。

イスタンブールにおけるFETOの地区責任者が逮捕。

軍事：NATO、対ISIL作戦のためトルコに早期警戒管制機の展開を計画。

社会：トプカプ宮殿博物館内の宝物館が崩壊の危機。

メルテル地区の道路が陥没。

政治

【内政】

●憲法改正に向けた与野党3党が基本合意

23日、HDPを除く、AKP、CHP、MHPの与野党3党の代表が会合を開催し、10月から開催される国会で憲法の一部を改正することで基本的な合意を終えたことを発表した。ギュル AKP 事務局長は、7つの項目で3党合意したことを明らかにしつつ、更に合意できる条項があると述べた。改正対象は、軍関連の司法機関の撤廃等が中心になるとみられている。（9月24日付M紙1面）

●国家安全保障会議、非常事態宣言の来年1月18日までの延長を政府に勧告

28日、エルドアン大統領の主宰下で国家安全保障会議が開催され、7月18日に当初3か月の期間予定で発出された非常事態宣言に関し、憲法の規定に基づき、更に来年1月18日まで3ヶ月間延長することを政府に勧告する旨決定した（注：憲法上の非常事態宣言期間は6か月以内と規定され、以降4か月単位での延長が可能）。今後、政府が同勧告を踏まえて閣議で延長を正式に決定し、国会での承認を目指すプロセスとなる。（9月29日付H紙1面）

【外交】

●エルドアン大統領、シリア情勢等について記者団に説明
エルドアン大統領は、国連総会出席のための訪米の帰路、機中で記者団に対して、最近の内政及び外交についての考えを述べた。この中で同大統領は、国境付近からテロ組織を一掃するまでユーフラテスの盾作戦は続行する、シリア北部の安全地帯にトルコ国内のシリア避難民が定住可能な住居をトルコは用意する、米国も賛成、露も反対とは言っていない等述べて、同構想の準備を進める旨を述べた。（9月24日付H紙1面他）

●トルコ、EUに対して難民支援の強化を要請

26日、ステイリアニデス欧州委員（難民問題等の人道支援担当）がトルコを訪問し、チェリッキ EU 大臣と会談した。チェリッキ大臣は会談後、国際社会からの支援は全く不足しているとした上で、EUの30億ユーロ支援（及び追加の30億ユーロ）を歓迎する一方、NGO 経由分を含めトルコへの拠出プロセスが遅い等の不満を表明した。（9月26日付H紙インターネット版）

●ジョンソン英外相がトルコを訪問、今後の協力関係を確認

27日、トルコを訪問中のジョンソン英外相は、エルドアン大統領及びチャヴシュオール外相等のハイレベルとそれぞれ会談した。ジョンソン外相はトルコ側との会談で、英国はEUを離脱したが、トルコのEU加盟を引き続き支持する、と明言しつつ、難民問題に関するトルコの取り組みを高く評価し、シリア問題解決に向けた両国の一層の協力を進めたい等と述べた。（9月27日付H紙インターネット版）

経済

【マクロ経済】

●経済成長率見通し、下方修正の可能性

シムシェッキ副首相は、治安への懸念やクーデター未遂事件等を踏まえ、今年の経済成長率見通しを4.5%から下方修正する可能性に言及した。（9月23日付HDN紙10面）

【経済政策】

●政策金利、7か月連続引き下げ

22日、中央銀行は翌日物貸出金利を0.25%引き下げ8.25%とした。7か月連続の利下げ。1週間物レポ金利は7.5%で据え置いた。（9月23日付HDN紙10面）

●太陽光及び石炭エネルギー関連入札、年内に実施

アルバイラック・エネルギー天然資源相は、政府が年末前に国内の石炭及び太陽光エネルギー関連の初の入札を行うため準備していると述べた。(9月29日付HDN紙10面)

●トルコ、構造改革を進める

アーバル財務相は、ロイターのインタビューで、トルコは構造改革や組織改革を含め、ムーディーズが指摘した課題に対して既に取り組んでいるところであり、新たな計画を10月初めに発表する予定であると述べた。同大臣は、今年の経済成長率は当初の政府予想である4.5%に届かず4%を下回るが、2017年は今年より強い経済成長を遂げであろうと予想した。(9月29日付HDN紙10面)

【企業等の動き】

●トルコの経済団体、ドイツでトルコへの信頼を回復すべく働きかける

23日、トルコ企業家・実業家協会(TUSIAD)は、ベルリンでドイツの経済関係者に対し、クーデター未遂事件後のトルコの政治的・経済的安定性は確保されているとして、更なる投資等を働きかけた。(9月26日付HDN紙10面)

●ホンダ、新たなシヴィック・セダンの生産開始

1997年からコジャエリにあるホンダの工場は、10代目シヴィック・セダンの生産を開始した。同セダンは、ヨーロッパや世界市場におけるホンダの最も必要なモデルと言われている。(9月26日付HT紙10面)

●フジテレビ、イスタンブール支局を開設

日本の名門メディアであるフジテレビは、イフラス通信社(IHA)と提携し、イスタンブール支局を開設した。IHAビル内の新支局で行われた開所式典で挨拶したフジテレビの鈴木氏は、「世界の報道センターであるイスタンブールから様々なニュースを提供していくことは誇りである。」と述べた。(9月28日付T紙3面)

【イスタンブール関連】

●グローバル金融センターランキング、イスタンブールの順位下落

26日に金融コンサルティング会社Z/Yenが発表したグローバル金融センターランキングにおいて、イスタンブールは57位。前回の45位から後退した。政治的不安定性等が今回の順位低下に影響した。上位5位は、ロンドン(注:ただし、英国のEU脱退に関する国民投票結果は反映されていない)、ニューヨーク、シンガポール、香港、東京となっている。(9月28日付HDN紙10面)

【その他】

●貧富の差が拡大

統計庁の調査によると、トルコにおける貧富の差が拡大している。2015年は、最低所得層の人々の人口に占める割合は前年の6.2%から6.1%に低下したが、最高所得層の最も多い20%の人々の割合は同45.9%から46.5%になった。所得の不平等の指標であるジニ係数(0から1の間の係数で1に近づくほど不平等)は前年から0.006ポイント増加して0.397となった。国民全体の収入に占める高所得層(上位20%)の割合は、2014年の7.4から2015年は7.6に上昇した。(9月22日付HT紙7面)

●ムーディーズ、トルコ・ソブリン債をジャンク級に格下げ

23日、格付け機関ムーディーズは、トルコの長期国債格付けを1段階引き下げて投機的又はジャンク級とされるBa1に引き下げたと発表。格付け見通しは安定的とした。トルコの巨額な資金調達需要、GDP成長率の減速及び制度の強靱性に関連するリスクを踏まえたとした。また、2016年から2019年の間のトルコの平均実質GDP成長率見通しを

2.7%とした。S&Pは7月のクーデター未遂事件後に格下げしており、現在はフィッチのみが大手格付け機関の中で、トルコに対してジャンク級を上回る格付けを維持している。(9月23日付HDN紙インターネット版)

●日本格付研究所(JCR)、ムーディーズの格付け引き下げ評価に対し、トルコは投資可能な国と応答

日本格付研究所(Japan Credit Rating: JCR)のユーラシア代表は、ムーディーズのトルコの格付け引き下げ決定に対して、トルコは依然として投資価値のある国であり、現在も投資適格水準を維持していると述べた。(9月28日付HDN紙11面)

●プーチン大統領、10月にトルコ訪問予定

28日、ロシア政府は、プーチン大統領が10月にトルコを訪問するために準備していると発表。(9月29日付HDN紙10面)

【クーデター未遂事件関連】

●預金保険管理機構、FETO関連企業200社を管理

FETOと関連するとされる企業への調査・捜査により、預金保険管理機構(TMSF)の管理下となった企業は200社に上った。今後さらに増加すると予想されている。(9月29日付HT紙10面)

治安

●メトロバス運転手が乗客に傘で殴られ、大事故

24日、イスタンブールのアジア側アジュバーデムで、走行中のメトロバスの運転手と口論になった乗客が、運転手を傘で殴った弾みで、バスはメトロバスの走行車線を外れ、反対車線を走行中の車両数台に乗り上げ、他のバスに正面衝突して停車した。この事故で、11名が負傷し、運転手を殴った乗客は逮捕された。(9月25日付M紙インターネット版)(写真同)



●PYDがブリュッセルで集会開催

24日、ベルギーの首都ブリュッセルで、北シリアのクルド勢力PYDの欧州支部が集会を開催した。参加者は約700名に上り、PYDのサーリフ・ムスリム共同代表を始め、多くのPKK関係者と目される人物が参加した。また、会場にはPKKのオジャラン首領の写真やシリアでの闘いで死亡したPYD戦闘員の写真も掲げられた。HDPの他、アイルランド、ドイツ、スウェーデンの政党が同大会に代表を送ったと言われている。ベルギーとトルコの関係は、PKKの問題を巡って緊張を増している。(9月26日H紙インターネット版)

【PKK関連】

●PKKが第三大橋やサッカースタジアム等のテロを計画していたと判明

PKKメンバー3人が拘束され、同人らに対する捜査により、PKKがイスタンブールの公共施設にある警察チェックポイント等に対する攻撃計画を有していたことが判明した。攻撃計画に含まれていたのは、タクシム広場の機動隊、シュクリュバルジュの警察学校、ウスキュダルの警察官舎、フ

エナルバフチェスタジアムの警察官詰め所、ガラタサライスタジアムの警察官詰め所、エルドアンスタジアムの警察官詰め所、ボスポラス第3大橋であった。(9月26日付HT紙18面)

●トルコ南東部で PKK の攻撃により兵士 10 名が死亡

26日朝、マルディン県デリク地区において兵士を輸送していたミニバスの通行中、PKKによる遠隔操作爆弾が爆発し、4名が死亡、6名が負傷した。数時間後、シュルナク県ウルデレ地区において、PKK戦闘員との交戦により兵士6名が死亡、PKK戦闘員1名が死亡した。また、25日には、ヴァン県においてPKKの攻撃により貨物列車が爆発、職員2名が負傷、車両4台が被害を受けた。(9月27日付HDN紙1面)

●ヴァン県で4トン爆薬を積んだトラックを警察が押収

26日、ヴァン県エルジシュ地区の区役所ビルの前に停められていたトラックの中から、4トンの爆薬が見つかり、警察の爆弾処理班によって処理された。この車両は、最近PKKメンバーにより盗まれたものであった。(9月28日付HDN紙1面)

●PKK から 3 名の少女を救出

27日、ヴァン県における対PKK作戦において、PKKに誘拐されていたとされる16～18歳の少女3人を警察が救出した。少女の1人は、同県のHDP事務所で働く人物からリクルートされ、山岳地帯(PKK)に連れていかれたと述べた。(9月28日付HDN紙4面)

●ウシュクダルで地下に隠されていた銃器を発見

27日夜、匿名の情報提供を受けた警察が、イスタンブールのウシュクダル区で地下に埋められていた銃火器240丁を発見した。チャルシュカン県警本部長は、弾倉は空であり、テロに関連するものではないと語った。匿名の情報では、これらの銃火器は2009年に埋められたものであるとのこと。(9月29日付HDN紙3面)

●シュルナク県の空き家で PKK 戦闘員の遺体を発見

28日、シュルナク県の外出禁止令が出されている地区の空き家で、PKK戦闘員6名が死亡しているのが確認された。遺体のそばにはライフル12丁、マシンガン、手りゅう弾14個、双眼鏡に加え、PKKに関連する書類が見つかった。県警によれば、現場から強い異臭が立ちこめていたため、捜索を行った結果、遺体が見つかった由。(9月29日付HDN紙3面)

【FETO 関連】

●MIT の職員 87 人がギュレン系との関係で解職

MITにおいてギュレン系との関係が疑われた141人の職員の内、100人に関する捜査が終了し、87人が解職されたことが明らかになった。また、87人の内52人は、証拠書類等とともに検察に送検された。(9月28日付C紙6面)

●イスタンブールにおける FETO の地区責任者が逮捕

イスタンブールで行われた捜査の結果、FETOはイスタンブール県を4地域に分割しており、この内「ボアジチ地区」の責任者として、ムザッフェル・タシュクン容疑者ら18名が逮捕された。「ボアジチ」地区は、サルエル、ベシクタシュ、シシリ、ペイオール等各区を管轄していたとされる(9月27日付S紙16面)

【ISIL 関連】

●ガジアンテップで金曜礼拝へのテロ情報

23日、ガジアンテップ県で金曜礼拝を狙ったテロ情報があり、警察は全てのモスクの前で入場者に身体検査を実施させた。(9月23日付HDN紙インターネット版)

●ヤロヴァ県で ISIL メンバー5名拘束

28日、ヤロヴァ県警察本部テロ対策部は、ISILオペレーションを実施し、ISILメンバーと思われる5名が拘束された。(9月28日付H紙インターネット版)

軍事

●トルコ軍、ISIL 関連標的 69 カ所を砲撃

25日、トルコ軍は、北シリアにおける戦闘で、ISILの関連の標的69カ所に210発の砲撃を行い、また、2カ所に対しては空爆を行ったと発表。この空爆によってISILが戦闘指揮の拠点として使用していた建物および武器庫を破壊した。また、トルコが支援する自由シリア軍は、ISILに奪還されていたアル・ライの西方の村4カ所と同東方の村1カ所を奪還した。(9月25日付S紙インターネット版)

●トルコが、ペシュメルガの戦闘員 60 名の治療を実施

25日、外務省の発表によると、トルコは、北イラクのクルド勢力の部隊であるペシュメルガの内、ISILとの戦闘で負傷した戦闘員60名をトルコ国内に搬送し、治療を行ったと発表した。治療は国立病院で行われ、治療費や搬送費はトルコ政府が支払った。トルコ政府は、国際社会および地域のメンバーと軍事的・人道的に協力を続けていくと発表した。(9月26日付HD紙インターネット版)

●NATO、対 ISIL 作戦のためトルコに早期警戒管制機の展開を計画

NATOは、米国主導の連合軍によるISILとの戦いを支援すべく、10月末までにトルコに早期警戒管制機(AWACS機)の展開を計画している。NATOは、トルコの航空防衛能力強化のため、トルコ政府の要請に応じて2016年の始めに前線基地の1つであるコンヤに展開したことがある。(9月27日付HDN紙1面)

●マンビジからの YPG 撤退を確認

26日、トルコ政府は、シリアのマンビジに展開していたYPG戦闘員が、ユーフラテス河東岸へ撤退を始めたことを確認した。クルトウルムシュ副首相は、この地域からPYDやYPG等のテロリストを排除しなければならない、自由シリア軍による攻撃の後、この地域に留まっていた人々の多くが、元々居住していたジャラーブスへ戻りつつあると述べた。また、トルコの防衛線として、テロリストから国境を守ること、YPGによる「クルドの回廊」に反対すること、YPGはユーフラテス河の西岸を越えないこと、の3つを挙げた。(9月27日付HDN紙1面)

●トルコ住宅開発庁が900kmにわたるシリア国境の壁の建設作業を引き継ぐ

トルコ住宅開発庁は、国防省と国境沿いの各県が進めていたシリア国境の壁の建設作業を引き継ぐことになった。現在、コンクリートの壁200kmの建設が終わっているが、残り700kmの建設を5ヶ月で行う予定。(9月29日付HDN紙1面)

●ISIL のドローン攻撃によりトルコ兵士 3 名が負傷

27日、ユーフラテスの盾作戦が遂行されているシリアのウクフで、爆弾を搭載したドローンをういたISILの攻撃でトルコ兵3名が負傷した。参謀本部によれば、この計画が始まった8月24日以降、これまで1337名の兵士が負傷した。(9月29日付HDN紙9面)

社会

●メトロ、タクシム駅で人身事故

22 日午後 6 時頃、23 才の青年がメトロ・タクシム駅の線路内へ飛び降り自殺を図り、一時メトロが一部区間で不通となった。消防隊員による救助活動により、30 分後に青年は救助され病院に運ばれた。青年は胸と肩を負傷したが、命に別状はないという。(9 月 23 日付 HT 紙 11 面他)



(写真は 9 月 22 日付 Haberler.com インターネット版から)

●7 ヶ月間に 7 つの建物が倒壊

22 日朝、バージュラル区で無人の 6 階建てビルが倒壊し、近隣のアパートの入り口を塞いだ。自宅から外に出られなくなった住人は、消防車の可動式はしごで救助された。住人は、「地震が発生したと思ったが、後でビルが倒壊したと分かった」と語った。今年の 2 月以降、イスタンブールでは合計 7 棟の建物が倒壊している。(9 月 23 日付 HT 紙 23 面他)



(写真は 9 月 22 日付 C 紙インターネット版から)

●マスラック・カスラルが改修を経て再オープン

オスマン帝国時代の木造建造物である「マスラック・カスラル」が 1 年半にわたる改修を経て再オープンした。開館式典では、カフラマン・トルコ大国民議会議長が出席し、「歴史的建造物は特定の組織や団体に引き渡されるべきでなく、一般に開放されるべきだ。」と語った。(9 月 26 日付 HT 紙 13 面他)

●トプカプ宮殿博物館内の宝物館が崩壊の危機

4 月にトプカプ宮殿に隣接するギュルハーネ公園の壁が崩壊し、その後実施された調査で、トプカプ宮殿内コンヤル・レストランの壁の損傷が確認され、宮殿の海側斜面の安全性全体について調査が実施された。その結果、損傷した壁に平行して建つ、宝物館が入るファーティヒ・キョシュクの地下の壁と天井部分にひび割れが確認され、同宝物館は安全の為に閉鎖されている。「トプカプの短剣」等の財宝は一時的に倉庫に保管されている。(9 月 27 日付 H 紙 1 面他)

●トルコ航空から特別価格キャンペーン

トルコ航空は 10 月 16 日までの発券期限付きで、バルカン半島、カフカス地方、ウクライナ等への往復航空券を 99 ドル〜の特別価格で提供する。チケットはアタチュルク又はサビハ空港出発便となり、10 月 16 日から 3 月 31 までの発着便で席数を限定して販売する予定。

(9 月 26 日付紙 TRT HABER 他)

●カルタル〜カイナルジャ間のメトロがまもなく開通

アジア側のメトロ線カルタル〜カイナルジャ間の試験運行が完了し、1 週間以内の開通が予定されている。開通後はカドウキョイ〜カイナルジャ間が 35 分間に短縮され、現在建設中のカイナルジャ〜サビハギョクチェン空港間の路線開通後は、カドウキョイから空港までメトロでの移動が可能となる。更にカイナルジャ〜トゥズラ間のメトロ線延長も計画されており、今後入札が実施される予定。

(9 月 27 日付 HT 紙 19 面他)



(写真は 9 月 27 日付 HT 紙インターネット版から)

●ムーラ県ダッチャで、M5.2 の地震が発生

首相府災害危機管理局 (AFAD) の発表によると、28 日 23 時 57 分頃、ムーラ県ダッチャで M5.2 の地震が発生した。アンタルヤ県、ムーラ県、アイドゥン県及びイズミル県で地震が観測されたが、建物の損壊や死傷者は確認されなかった。(9 月 28 日付 HT 紙インターネット版他)

●メルテルで道路が陥没

28 日午後 2 時頃、メルテル地区のテキスタイルの店舗が並ぶ通りで 20 メートルに渡って道路が陥没し、駐車していた車両 5 台が陥没した穴に落下した。この事故で 1 名が軽傷を負い、救急車で病院に搬送され、駆けつけた警察によって、広範囲に亘り陥没の危険性がある道路が封鎖された。店舗の従業員は、およそ一ヶ月前に周辺で下水工事が実施されていたと述べた。道路の陥没はイスタンブール各地で相次いでおり、5 月にはメルテル地区で、7 月にはウムニエ地区にある建設中のメトロ駅付近で、8 月にはタタ後にマルテペ地区で道路の陥没が発生した。

(9 月 29 日付 HT 紙 21 面他)



(写真は 9 月 28 日付 HT 紙インターネット版から)

注：本文中の略語の正式名称は以下の通りです。

略語	正式名称	略語	正式名称
AFAD	首相府緊急災害事態対応総局	ÖSB	PKKの防衛隊
AKP	公正発展党（現与党）	OIB	首相府民営化管理庁
BDDK	銀行監督庁	PKK	クルディスタン労働党
BDP	平和民主主義党（クルド政党）	PYD	シリア民主主義連合党
BOT	建設・運営・譲渡方式	RP	福祉党
CHP	共和人民党（最大野党）	RTÜK	ラジオ・テレビ高等機構
DEP	民主党	SNC	シリア国民評議会
DHKP/C	革命人民解放党/戦線	SPK	証券取引監査院
DHMI	国家航空局	SSM	防衛産業庁
DISK	先進労働組合連合	TBB	トルコ弁護士協会／トルコ銀行協会
DTK	民主主義社会評議会	TCDD	トルコ国鉄
DTP	民主社会党	TDHB	トルコ歯科医師会
DYP	正道党	TESK	トルコ商工業連合
EDAM	経済外交政策センター	THY	ターキッシュ・エアラインズ
EPDK	エネルギー市場監督庁	TIKKO	トルコ労働者・農民解放軍
HDP	人民民主党（クルド政党）	TMMOB	トルコ・エンジニア・建築会議連盟
HSYK	裁判官・検事高等委員会	TOKİ	トルコ集合住宅開発局
İDO	イスタンブール海上フェリー会社	TOMA	放水装甲車
İHH	人権・自由・人道支援団体	TPAO	トルコ石油公団
İKSV	イスタンブール文化芸術財団	TTB	トルコ医師会
İSO	イスタンブール産業会議所	TÜBİTAK	トルコ科学技術研究機構
İşİD	イラク・レバントのイスラム国（アルカイダ系）	TÜİK	トルコ統計庁
İTO	イスタンブール商工会議所	TÜPRAS	トルコ石油精製会社
KCK	クルディスタン共同体同盟（PKK系）	TÜSİAD	トルコ産業・実業家協会
KESK	公務員労働組合連合	TÜYİD	トルコ投資家関係協会
KRG	北イラク政府	YÖK	トルコ高等教育評議会
MHP	民族主義者行動党（野党）	YSK	選挙高等委員会
MİT	国家諜報機関		

注：本文中のニュースソースの略称は以下の通りです。

トルコ語新聞		英字新聞		通信社	
Akşam	A	Economist	EC	Anadolu News Agency	AA
Cumhuriyet	C	International New York Times	INYT	Agence France Presse	AFP
Haberturk	HT	Hürriyet Daily News	HDN	Cihan News Agency	CA
Hürriyet	H	Today's Zaman	TZ	Doğan News Agency	DA
Milliyet	M			İhlas News Agency	İA
Posta	P			Interpress	İP
Radikal	R				
Sabah	S				
Taraf	T				
Vatan	V				
Zaman	Z				

在イスタンブール日本国総領事館

電話：0212-317-4600、FAX：0212-317-4604、E-Mail：istanbulweekly@it.mofa.go.jp

WEB：http://www.istanbul.tr.emb-japan.go.jp/index_j.html

Facebook：http://www.facebook.com/Japonya.Istanbul.Baskonsoloslugu

- トルコに90日以上滞在される方は総領事館に在留届を提出願います。
- 新たに配信希望される方、あるいは今後の配信を希望されない方は、以下のメールアドレスにご連絡ください。

istanbulweekly@it.mofa.go.jp

【被害】

イスタンブール邦人被害統計								
2016.1.1～2016.9.29 ※総領事館に訴出があったものを集計								
年	窃	盗	詐	欺	ぼったくりバー		高額絨毯購入(相談)	
	今週	通算	今週	通算	今週	通算	今週	通算
2015年		8件		6件		20件		9件
2016年	0件	5件	0件	2件	1件	18件	0件	2件

- 今週は、ぼったくりバーの被害届が1件ありました。

★当館 HP 更新のお知らせ★

- 蘭浦外務副大臣がイスタンブールを訪問されました (9/28) **NEW**
- 第7回芸文館「生け花講習会」の開催 (9/23) **NEW**
- 平成29年度前期用教科書の配布について (9月29日) **NEW**